



11月 ちとせだより

2023. 11. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

先日の運動会では、たくさんのご理解ご協力をいただき本当にありがとうございました。コロナ禍前の運動会を知っている方にとっては懐かしさを感じられたことでしょうか。そして初めての方にはどのように感じられたでしょうか？園児だけにとらわれず、連携園のちとせ保育ルームのお友だち、保護者の方や未就園児の小さい子も小学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんも、みんなが見て楽しい、やって楽しい運動会になったのであれば本当に嬉しく思います。たくさんアンケートでもそのようなご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

しかし、それは子どもたちはじめ、保護者の皆様も主体的にお手伝いから応援、保護者競技などに関わってくださったからこそだと思います。子どもたちには、いつもどんな時にも全力で取り組んで欲しいと願って運動会遊びも取り組んでくれました。全力でやるからこそ、はっきりとした結果を受け止めることも大切です。勝つことが良くて、負けることが悪いという価値観であれば、みんな平等に勝てるよう大人が工夫して競技をすることも可能です。しかし、それでは全力でやっている子どもたちにとって失礼にあたることにもなります。なぜなら、勝つことの喜びもそして負けることの悔しさもどちらも大切な感情として、子どもたちの成長の種となるからです。

負けて悔しいから次はこうしよう。どうやったら次は勝てるのか？このような真剣勝負の繰り返しで、困難にぶつかってもそれを乗り越えようとする力につながります。また、その歩みは自分だけが頑張ってもどうにもならないことにも気付いていきます。クラスみんなで協力すること、仲間を信じること、自分の力も信じること・・・年長児のリレーはまさに毎日その連続でした。その全力で一生懸命な姿に、見るものは心を打たれます。感動するのです。決して、勝負に勝ったから感動したという人はいなかったでしょう。勝っても負けても全力で取り組む姿は、人の心を揺さぶる力を秘めています。

運動会が終わった今、今度は年少、年中のお友だちが園庭でリレーをする姿を見るようになりました。年少児は、まだまだバトンをつなぐどころか、みんながタスキをかけ、みんながバトンを持って一緒に走っているような微笑ましい光景ですが、着実に年長児の姿や思いがこのようにバトンとして受け継がれています。これからも運動会に限らず、どんなことにも全力で取り組めるような子どもたちであって欲しいです。そして私たちもそのような子どもたちを全力で応援し、見守っていきたいと思います。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

(エフェソ信徒への手紙 2章 17節)

11月主題 「ありがとう」

聖句 「地はお造りになったものに満ちている」 (詩編 104編 24節)